なぜあの時、
トルコは日本を
助けてくれたのか。

日本・トルコ合作

海難1890

内野聖陽　ケナン・エジェ　忽那汐里　アリジャン・ユジェソイ

小澤征悦　宅間孝行　大東駿介　渡部豪太　徳井 優　小林綾子　螢雪次朗　かたせ梨乃
川野直輝　三輪ひとみ　斉藤とも子　池谷のぶえ　みのすけ　辻本祐樹　金子 昇　高田敏江　上田耕一

夏川結衣　永島敏行　竹中直人　笹野高史

脚本：小松江里子　音楽：大島ミチル　企画・監督：田中光敏

製作：須藤泰司　木下直哉　岡宮登良松　中村理一郎　萩下維也　近藤 哲　本木敬巳　吉村和文　西本博嗣　松田陽三　沖中 進　広田勝己　岸本一朗　本間雅之　板倉 均
エグゼクティブプロデューサー：村松秀信　プロデューサー：天野和人　大原誠久　大谷亮介　小沢禎二　冨永理生子　撮影監督：永田鉄男(A.F.C.)　撮影：会田正裕(J.S.C.)　美術：花谷秀文　編集：川島章正　録音・整音：松陰信彦　音響効果：柴崎憲治
DIT：Julien Bachelier　音楽プロデューサー：津島玄一　特撮監督：佛田 洋　VFXスーパーバイザー：野口光一　監督補・脚本協力：井上 隆　製作統括：木次谷良助
〈日本ユニット〉キャスティングプロデューサー：福岡康裕　照明：安藤清人　助監督：中川裕介　進行主任：中森幸介　製作担当：清水圭太郎　キモノデザイナー：斉藤上太郎　宣伝プロデューサー：谷口敏志　宣伝統括：鈴木英夫　京都撮影所統括：竹村寧人
〈トルコユニット〉Producer：Oğuz Peri　Line Producer：Emrah Gamsızoğlu　1st Assistant Directors：Uğur Karaaslan　Oğuz Uydu　Art Director：HakanYarkın　Script Consultant：İskender Pala
製作：Ertugrul Film Partners（「海難1890」製作委員会&トルコ共和国文化観光省映画総局）
（「海難1890」製作委員会：東映　木下グループ　東映ビデオ　電通　読売テレビ　クリエイターズユニオン　ぴあ　イノベーションデザイン　ノーリツ鋼機　読売新聞社　朝日放送　毎日新聞社　BSフジ　MXエンターテインメント　北日本新聞社）
後援：日本国外務省　駐日トルコ共和国大使館　協力：在トルコ日本国大使館　和歌山県　串本町　日本・トルコ協会

©2015 Ertugrul Film Partners　特別協賛：TURKISH AIRLINES　助成：文化庁

製作プロダクション：東映東京撮影所　東映京都撮影所　クリエイターズユニオン　Böcek Yapım

支援：特定非営利活動法人 エルトゥールルが世界を救う　大塚 実　京都大原記念病院グループ　大成建設　東芝　トヨタ自動車　丸紅　三井住友銀行　三井物産　三菱重工業　三菱商事　三菱東京UFJ銀行
協賛：IHI　伊藤忠商事株式会社　ExcelHuman　SHIMA SEIKI　住友ゴム工業株式会社　住友商事株式会社　NIPPON　Panasonic　BANDAI　和歌山県　Honda Cars

www.kainan1890.jp

12.5
ROADSHOW

日本人が知らない、奇跡の実話。

STORY

1890年の和歌山県紀伊大島樫野（現:串本町）。この地に暮らす医師・田村（内野聖陽）と助手のハル（忽那汐里）は、貧しい者を親身になって診察することから村民の信頼を集めていた。同年9月、日本への親善使節団としての使命を終え、帰路についたトルコのエルトゥールル号は台風に遭遇した。暴風雨の中、船は樫野崎沖で沈没。島中に響き渡る船の爆発音を聞いた村民たちは、岸壁で漂着した膨大な数の死体と船の残骸を発見する。村民は総出で救出活動を行い、田村とハルは救護所でけが人の手当てに追われる。救護所に運び込まれた海軍機関大尉のムスタファ（ケナン・エジェ）は呼吸が止まっていたが、ハルの懸命な心臓マッサージで息を吹き返した。翌日、生き残った乗組員は69名と判明。実に500名以上が犠牲になった大惨事だった。自分が生き残ったことに罪悪感を覚えて苦悩するムスタファは、やり場のない怒りを田村にぶつけた。田村は漂着物を綺麗に磨いて、母国の遺族に返そうとする村人たちの姿を

「テヘラン邦人救出劇」

ルコへと受け継がれた想い

る者に、手を”
界を変えた

を目撃する。

ムスタファに見せる。ムスタファの胸には、人を想う日本人の深い真心が刻まれた。

それから月日は流れ、1985年のイラン・テヘラン。空爆が続く地下避難壕でトルコ大使館の職員ムラト（ケナン・エジェ）と日本人学校の教師・春海（忽那汐里）は出会った。やがてサダム・フセインが48時間後にイラン上空を飛行するすべての飛行機を無差別攻撃すると宣言。日本大使・野村（永島敏行）は救援機を要請するが、日本では迅速な対応が難しい状況にあった。その間にも他の国々では救援機が到着し、徐々に日本国民だけが取り残されていく。春海は子供たちを救うために奔走し、野村にトルコに救援機を頼むように進言。野村の要請を受けたトルコのオザル首相は、救援機を飛ばすことを承諾する。ところがテヘランの国際空港には日本人の他に、救援機を待つトルコ人たちで溢れていた。その状況を見た日本人たちは、飛行機に乗ることを諦めかける。そのときムラトはトルコ人に対して、かつて日本人から自分たちが受けた真心の歴史を語り始めた……。

トルコはなぜ日本を救ったのか?

1890年9月16日未明
全てはここから始まった。

1890年に日本で起きたトルコ軍艦の事故「エルトゥールル号海難事故」、そこから95年後、イラン・イラク戦争の渦中に起きた「テヘラン邦人救出劇」。2つの史実を基に、日本人とトルコ人の勇気と誠意を映し出した真実のドラマが映画となって誕生する。

「エルトゥールル号編」で、村人を指揮して海難事故の治療に当たる医師を演じるのは、内野聖陽。グローバルな視点を持つ、豪胆で心優しい明治の日本人を体当たりで演じている。海難事故で生き残ったエルトゥールル号の乗組員で、村人たちの温かさに触れていく軍人・ムスタファを演じるのはトルコ人俳優ケナン・エジェ。さらに田村の助手として健気に働くヒロインのハルを忽那汐里が演じる。ケナン・エジェと忽那汐里は「テヘラン救出編」にも出演し、2つの時代をつなぐ重要なパートを好演。その他「エルトゥールル号編」には夏川結衣、小澤征悦、大東駿介、竹中直人、笹野高史らが、そしてトルコからはムスタファと友情が芽生える操機長ベキール役でアリジャン・ユジェソイが出演。「テヘラン救出編」には永島敏行、宅間孝行らが出演するなど、国際色豊かなキャストが顔を揃えている。

監督は「利休にたずねよ」でモントリオール世界映画祭最優秀芸術貢献賞を受賞した田中光敏。今回も小松江里子の脚本を得て、撮影監督に「エディット・ピアフ～愛の讃歌～」でセザール賞撮影賞を受賞するなど国際的に活躍する永田鉄男を迎え、東映京都撮影所のスタッフ、トルコで映画・TV作品を手掛ける制作プロダクション、ボジェッキ・ヤプムのスタッフと共に雄大で美しい映像を作り上げている。

さらに、日本の外務省後援、トルコ政府全面協力という国家的支援を得て、映画のスケールを超えたビッグプロジェクトとして今冬スクリーンに登場する。

12月5日(土) ROADSHOW

特製ブックレット付前売券 劇場窓口にて絶賛発売中!!

一般1,400円(税込)【一部劇場を除く】 ※ブックレットは数に限りがございますのでお早めに。

『海難1890』を深く楽しめる豪華24ページのブックレット!